

智頭電機株式会社

生産設備で

日本のものづくりを支える

- 海外発注可
- 納期相
- 企画力自信有
- コスト相
- オンライン技術
- メイドインジャパン
- 試作可
- 量産対応



社内で手がけた多関節ロボットを活用した生産設備

業務内容

産業用機械設備で60年の実績

産業用機械設備の設計・製作で豊富な技術やノウハウを持ち、創業60年を迎えた。微小ワーク（加工対象物）の高速ハンドリング装置のほか、電池や電子部品関係の加工機など各種機械・装置をオーダーメイドで受注生産し、日本のものづくりを支える。日系企業の中国への進出支援でも設備製作で貢献してきた。ものづくりが従来型の大量生産から多品種少量生産に移行するに伴い、近年では多関節ロボットやパラレルリンクロボットを活用した生産設備の製作に本腰を入れ始め、実績を積み重ねている。

強み

普及しつつあるロボット設備に焦点

生産効率の高いロボットを用いた生産設備はこれから普及が見込める。しかし、顧客が活用の術を把握しきれていない場合も多い。その距離を埋めるのが同社の仕事。平成21年には専門部署の「RTグループ」を組織し、ロボットアームを使った設備の提案を始めた。顧客から要望を受けると必ず現場に赴き、3次元（3D）CADなどを駆使して1週間程度で見積もりを出す。これまでに蓄えた知見やシステムインテグレーター（電気制御技術者）としてのノウハウ、金型調達、架台作製までロボット設備に関する調達をワンストップで行う力がある。平成24年度はロボットで30台の受注実績があり、平成25年度は倍増の60台の受注を目指す。

人材育成

社員ひとり一人が“主役”

好きなことができる会社を志し、顧客と最も多くの接点を持つ現場の設備担当者が「主役」となって業務を進める。プロジェクト型の開発で、決起大会や打ち上げなども大事なイベントとして団結力や技能の向上に役立てている。担当者には「自分の機械」という思いが強くなる一方で、責任も重くなる。社員ひとり一人が顧客に信頼・感謝され、自覚を持って仲間と切磋琢磨する環境の中で自然と人材教育につながっている。

今後の展望

全社を挙げたロボット教育と新たな海外展開

ロボット設備が将来を担う。さまざまなロボットメーカーの製品を扱える。ロボット好きの「会社」を掲げ、顧客要望に応じてロボットの活用を幅広く提案できる体制を整える方針。そのため、全社的なロボット教育も計画する。社員の多能工化を進め、新しいテクノロジーの中で「昨日とは違う仕事」を追い求める風土を醸成する。さらに東南アジア市場をにらみ、中国に続き海外2拠点目としてタイでの事業展開を準備している。日本のものづくりが世界で勝ち残れるように、全力で支援する構え。



産業用機械設備の生産を担う本社の外観

COMPANY PROFILE

智頭電機株式会社

大阪25

ISO 9001
ISO 14001

当社の歴史

鳥取県智頭町出身の祖父が会社を設立し、大手電機メーカーの生産設備などを担いながら成長してきました。仕事の基本は現場に足を運ぶこと。その繰り返しで、産業用ロボットを用いた設備のシステムアップや提案にも生かされています。平成8年には中国に進出し、これからタイにも進出します。

生産設備で日本企業のモノづくりの競争力強化に貢献します。

代表取締役社長 芦谷 直人さん

■主な事業内容
産業用機械設備や一般省力合理化設備の設計・製作

■主な取引先（納入先）
電機メーカー、自動車部品メーカー、食品メーカーなど

住所 / 〒571-0051 門真市向島町1-8
TEL / 06-6901-5174
FAX / 06-6905-1490
創業 / 昭和28年12月
設立 / 昭和28年12月
資本金 / 4,000万円
従業員 / 90名

<http://www.chizudenki.co.jp/>